

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社中川果樹園	常時雇用 4名	山形県寒河江市	法人化による農業経営力の強化	専門家派遣回数 2回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、県外で他産業に従事の後、Uターン就農した果樹専門農家。父親からの経営継承を機に経営上の課題を認識し、その改善や解決を図るため法人化を検討している。

■現状課題等

相談者は、地元主催のさくらんぼ品評会で最高賞を受賞するとともに、県青年農業士の認定を受けるなど、若手農業者のリーダー的な存在。

一方、さくらんぼ中心の経営であることから労働力が必要な時期の偏りが大きく、また、雇用労賃が上昇し、経営を圧迫しつつある。

そのため、新たな作物や加工部門の導入による年間の労力バランスの改善及び安定的な周年雇用の推進と、新たな販路の確保が必要。



果樹園のさくらんぼ

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

1 支援チームの編成

相談者に聞き取りを行い、課題解決に向けて令和元年度は法人化、令和2年度は雇用体制の整備を行うこととし、寒河江市、税理士、社会保険労務士、県農林大学校、普及指導員の計5名による支援チームを編成し、情報共有を図りながら支援を行った。

2 支援内容

(1) 税理士による指導(経営改善、法人化)

経営改善や法人化の具体的な手続き、定款作成について指導・助言を行った。指導等の際は本人とともに妻、父母も同席いただき、関係者の意識共有を図った。

(2) 社会保険労務士による指導(労務管理)

法人設立後の安定的な雇用の確保に向け、社会保険及び労働保険の内容や就業規則の策定、労働契約の締結に関する事など、労務管理の基礎を学んだ。

(3) 支援チームによる支援(経営力向上)

課題解決に必要な経営技術の習得に向け、相談者と妻における県農林大学校が主催する研修等の受講をサポートした。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

令和元年9月の法人登記により株式会社を設立し、販売面でのブランド力の向上とともに、社会保険整備によって新たな周年雇用が可能となる体制を作ることができた。

また、労務管理全般及び就業規則策定に関する指導や研修を踏まえた事業計画の策定により、経営者意識が一層高まった。

令和2年度は周年雇用や販路拡大に向けた取組を進めていく予定。



株式会社中川果樹園のみなさん

■コーディネーター所感

家族経営の法人化では、経営主だけでなく家族の理解が必要であり、本件では家族全員で専門家の指導を受けるなど関係者全員の意識も高く、スムーズに法人設立まで至ることができた。

引き続き、就業規則等の支援を通じ、経営の安定に向けた伴走支援を実施する。